

令和元年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策(松江市全体～中学校)

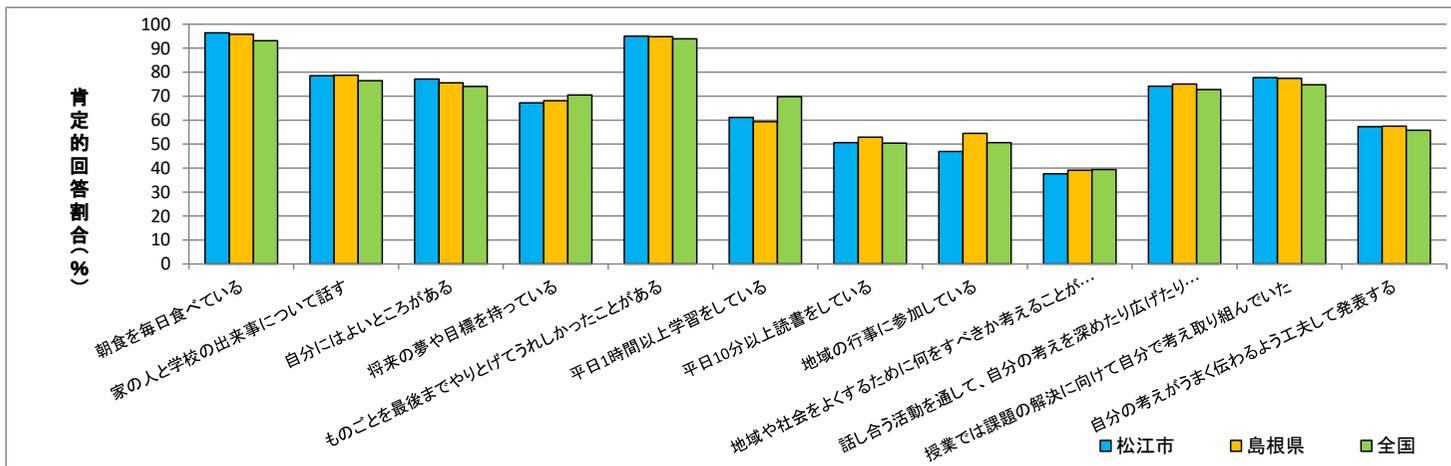
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
国語	○多くの情報を統合し、話の流れから思考を整理することができている。 ○文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つことができている。 ●手紙の表書きの書き方で学習をしたことが、普段の生活の中で十分な活用ができていない。 ●文章を読み込んで、解答する問題の無解答率が高く、最後まで文章を読む前に諦めてしまう生徒が多い。	・国語科の学習が、他の強化及び日常生活への思考整理や課題解決につながっているという意識づけや経験を増やす。 ・授業の中で、自分の考えを整理して、ある程度の長さの文章を書く活動を増やしていく。 ・優れた文章を多く読む経験を積み重ねることで、読解力を高める。
数学	○「数と式」領域では、平均正答率が全国平均値を上回った。(＋1.5) ○「関数」領域における「反比例の表から、xとyの関係を式で表すことの問題」の平均正答率が全国平均値を上回った。(＋4.6) ●「資料の活用」領域では、平均正答率が全国平均値をやや下回った。(－0.7) ●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られる。	・全領域において、意味理解を伴った知識・技能が習得できるような指導の充実を図る。 ・「資料の活用」領域の学習において、資料やグラフを適切に読み取り、資料の傾向を捉え、批判的に考察して判断し、その理由を説明させていくといった一連の学習機会の充実を図る。 ・事象を調べる方法や手順を説明するといった学習活動の充実を図る。
英語	○「読むこと」の領域の正答率は全国平均値とほぼ同程度である。 ○「英語の授業はよく分かる」と答えた生徒が全国平均値を上回った。(意識調査より) ●「聞くこと」の正答率が全領域の中で最も全国平均値を下回った。 ●「聞いた情報をもとに自分の考えを書く」「あるテーマについて自分の考えや理由を書く」など領域を統合して活用する問題の正答率が低く、無回答率が高い。	・4技能5領域の力をバランスよく育成するための年間計画や単元構成のもと、「つきたい力」を明確にして学習をすすめる。 ・ALT等を活用し、「聞きたいこと」「聞く価値のあること」のある聞く活動や、「話すこと」と関連つけた聞く活動を増やす。 ・「分かる授業」を継続するとともに、「活用や発信を重視する活動」や「複数の領域を統合した活動」の充実を図る。 ・「ふるさと学習」と関連づけ、松江や地域についてインプット、アウトプットをする経験を増やす。

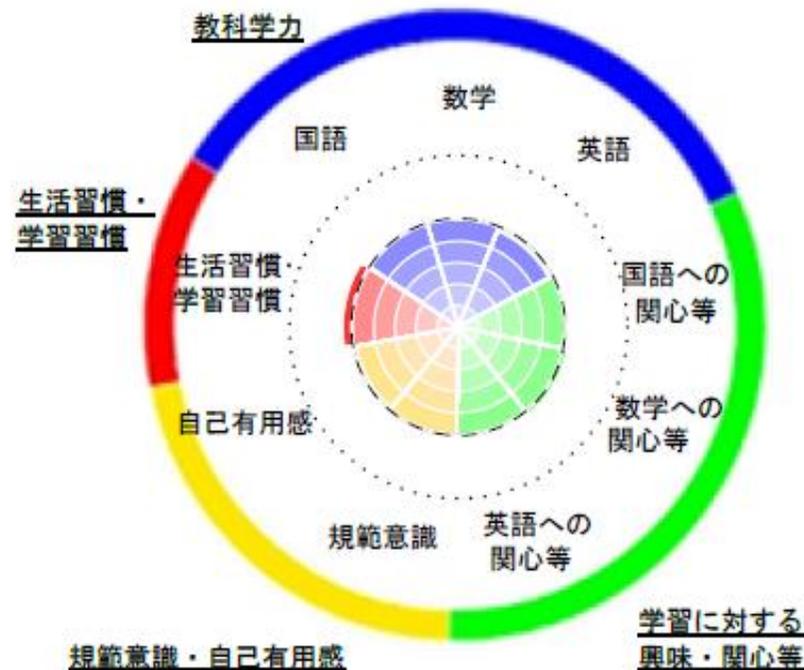
(2) 生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
	○総合的な学習等で自ら課題をたてたり調べたことを発表したりする力をもっている。 ○家庭学習の習慣は向上傾向にある。(「計画を立てて学習」全国平均比＋3.3) ●地域行事への参加、地域や社会への意識が低い。(全国平均比－4.4) ●外国の人や事柄への関心が低い。(全国平均比－4.4) ●各教科において回答時間が足りないと感じている生徒が多い。	・進路を意識し、計画的に学習する手立てを示すとともに、家庭教育が充実する取組を継続する。 ・外国や異文化、また地域に関する情報に触れる機会を意図的に増やす。(ex.総合的な学習等で取り上げる) ・引き続き朝読書や図書館活用の推進など、読書習慣が身につく取組を継続する。

(3) 意識調査の結果(学力との相関が指摘されているものや、松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



【参考】平均正答率(%)

	松江市	島根県	全国
国語	73	73	72.8
数学	60	57	59.8
英語	54	53	56